

労働相談室だより

働く者の相談室ひろしま

〒732-0057 広島市東区二葉の里 1-3-16 吉村ビル 3 階

☎ 082-262-3751 Eメール roso34@ybb.ne.jp

ホームページ <http://www.geocities.jp/rosohi>

第8回総会開かれる

世界恐慌と解雇旋風が吹き荒れる 09 年、労働相談室ひろしまは第 8 回総会を 4 月 24 日東区地域福祉センターで開催した。

総会には 22 名の賛同人と来賓として新社会党廿日市市議の石原さんが参加し、短時間ではあったが終始熱のこもった論議で議案を採択し、新年度の運営委員会を選出して成功裡に終了した。

総会はずから司会者が開会を宣言し、主催者を代表して加藤世話人が挨拶した。加藤さんは「段階を画した情勢の変化に対応しうる相談活動強化の必要性」を訴えた。

来賓は、直前の市議選を勝利した石原さんが選挙応援へのお礼を述べ、県西部でも相談に応えられるよう努力したいと激励した。

議事は、第 7 期活動の総括を谷本世話人が、第 8 期活動方針を土屋事務局長がそれぞれ提案した。総括では、昨年総会時と比して大きな変化が生じており、それは第一に恐慌下での大量解雇という情勢、第二に相談事項が解雇や生活破壊に直面し生死にかかわる深刻なものとなっていること、第三にそれゆえ相談室の力量と態勢のレベルアップが問われていることだ。三点の活動の柱をしっかりと総括し、時代の要請に応えようと提起した。方針では、アメリカ発の金融恐慌が実体経済の破壊におよび、各国資本と政府は世界的に労働者への犠牲の転嫁で乗り切ろうとしているが、とりわけ日本では安易な解雇が大規模で行われ、しかもセーフティーネットが穴だらけで深刻な事態が強まっている。これを許さず、労働者の権利を守り、セーフティーネットの完備を要求して、大衆運動を巻き起こそうと三点の柱で提起した。

論議の中で、呉からは労働相談活動の準備が積み上げられてきた報告がされ、また、3・29 の反貧困ネット主催の外国人集会・デモのような取り組みを強めていくことなどが確認された。

財政では、決算と予算を加藤世話人が提案し、会計監査報告を土屋さんが行ない、収支剰余金を繰り越すことを含めて財政を支える賛同人拡大に全体で取り組むことを確認した。

最後に、新年度運営委員および顧問・会計監査を選出し全議事を終了した。

全員が留任した運営委員会を代表して谷本世話人が閉会の挨拶を述べた。

相談室活動は新たな再スタートを切った。広島・福山・呉と広がってきた活動を、さらに県内各地に相談窓口を開設しより充実化していくこと。相談から解決につなげる力のレベルアップと会員拡大を進めること。反貧困ネットなどと連携して大衆運動化を強めること。課題は山積しているがやりがいのある時代に、相談室ひろしまは新たに一步を踏み出す。



第 8 回総会=09・4・24 東区地域福祉センター 下は挨拶する加藤徹夫世話人

最近の相談事例から

区分	相談内容	対応&結果
解雇	体調が悪く、2日続けて休んだら、「もう代わりを見つけたから来なくていい」と言われ解雇された。＜男性の正規労働者 4/22＞	解雇予告手当をとりたいという希望に沿って団交。労基署に指導させ、解雇予告手当1か月分を獲得。
	左官の仕事で日本に来たが、仕事が無くなり、鳶の仕事をやるように言われる。拒否すると、「クビだ、中国に帰れ」と言われる。＜中国人の非正規男性 4/25＞	受入れ協同組合を間に挟んで交渉中。残業代の未払いあり。
	妊娠して切迫流産の危険が疑われ、解雇された。EからYに派遣されていた。＜ブラジル人の女性派遣労働者 4/28＞	交渉の結果、「休職扱いとし、傷病手当の手続きはする」との回答
雇用保険	給料からずっと雇用保険料が引かれていたが、ハローワークでは「支払われていない」と言われた。どういうことか調査したい。＜ブラジル人の非正規男性 4/28＞	ハローワークで確認することに。
残業代	残業代がきちんと支払われていない。何とかして欲しい。＜中国人の非正規女性 4/12＞	福山ユニオンと相談、直接会って事情を確認。もう少し帰国（9月）直前に会社と交渉することを確認。
	店長として深夜2時まで働いていたが、月給制で残業代が支払われていない。Tさんは、加えて、閉店の指示が出て、行き先が決まっていない。＜書店の男性店長2人 5/4＞	組合に加入してもらい、団交をやる。裁判で残業代を請求
残業代&有休	島根から三重に移り、また島根に戻ったが、三重のSサービスで残業代のごまかし、有休をとらせてくれない、休業補償をだしてくれないなど、いろいろ問題があった。＜ブラジル人の非正規労働者夫婦 4/26＞	団交要求（場所！）
賃金	課長代理からヒラまで降任させられて、85,000円の賃下げとなった。裁判をやって、半分でも賃金を取り返したい。＜男性の正規社員 5/7＞	弁護士に依頼し裁判に着手（被告をどこにするか）。
労災	松山労基署の対応が遅い。何が問題なのか、追及してほしい。＜非正規の女性労働者 4/9＞	労基署に出向き、「7月までには調査を完了して判断を入れる」との回答。労災が認められれば、解雇は自動的に撤回される。しかし、一方で解雇撤回の裁判も準備している
	左手指3本切断の症状固定。今後の会社補償の交渉について＜ブラジル人の男性正規労働者 4/10＞	労災の後遺障害認定に従って、会社と損害賠償の交渉をする。
	頭を機械で挟んで頭蓋骨骨折の重傷を負う。症状固定したので、企業補償をとりたい。＜ブラジル人の男性非正規労働者 4/25＞	弁護士と連絡をとって、裁判を準備する。
	労災の後遺障害の認定をもらった（一時金受給）が、仕事をやるなかで再発した。再度労災の手続きをしたい。＜ブラジル人の非正規男性 4/28＞	労災の再発で申請したが業務外となる（「後遺症の範囲内」とされ増悪と認められず）。審査請求を行う。
	伝票整理で左手にしびれが生じ、頸肩腕症と診断された＜女性の正規労働者 5/8＞	傷病手当と労災の二つを申請することとし、手続きを準備した。会社。労災を申請したいが、会社が協力的でない。が認めない場合は理由書をとって申請する。

09 年度（第 8 期）の活動方針

非正規雇用労働者の組織化に力を注ごう

1, さらなる知名度のアップを

＊ 「パート・アルバイト・派遣トラブル 110 番」の定期的開催

9 月と 2 月の年 2 回実施

＊ 労働弁護団の相談活動との連携

例年 6 月と 12 月に行われるが、相談内容として労働組合で対処すべき問題はスクラムユニオンを紹介してもらう

＊ 街頭宣伝の強化

スクラムユニオン組合員との共同で月 1 回の宣伝活動を行う

＊ 外国人労働者向けの学習活動を行う

年に 2～3 回開催一ラテンアメリカの会との連携、具体的に学習内容を定めて計画化する

＊ ホームページの活用…ホームページにくだしい人からの援助を受ける

＊ 相談室便り（号外）の発行…闘争勝利ビラの活用

2, 相談窓口を県内各地に開設する

＊ 福山に続いて呉と県北（三次、北広島町）、廿日市などに 新社会党各総支部との連携を図る。

常設を目指しながら、臨時窓口を「トラブル 110 番」時に開設する。

相談室ひろしまから、人材を派遣して支援する。

＊ 支援団体との関係強化…自治体議員との連携を強化する

＊ 賛同人から相談者を紹介してもらう

3, 活動能力、解決能力の強化に向けて

＊ 学習会の定期開催

＊ 活動スタッフの養成

＜2009 年度 運営委員会＞

世話人 加藤徹夫 谷本大岳

事務局長 土屋信三

運営委員 佐々木孝 山廣賢治

監査 土屋みどり

顧問 足立修一（弁護士）

生活保護の申請ノーハウなど学習

今年度第 1 回の学習会を 7 月に開催します。テーマは生活保護。受給のための申請手続きなど実践的なノーハウを習得したいと考えます。詳しくは改めてお知らせします。

ご賛同に感謝！

第 8 期も各方面から多数のご賛同を戴いています。5 月 22 日現在、8 団体と 68 人の皆さんからです。更なるご賛同を期待しています。



淀谷強制配転を撤回せよ!

民営化された郵政はさらに悪質になった。

06年に当時の郵政ユニオン松田安芸府中支部長を強制配転したが、中労委で「原職復帰」の和解が勧告されシブシブ飲んだ郵政は、09年4月の松田復帰の報復として今度は淀谷支部書記長の強制配転で応えた。

何らの正当性も配転の理由もない。徹頭徹尾その悪質なユニオン敵視を露骨に表明した。

郵政ユニオンはこれを決して許さない。第三者機関を含めて闘いに立った。辞令交付の3月31日には安芸府中局包囲のデモで抗議し、近日中に県労働委員会に不当労働行為として救済を求めて申し立てる。

もとより、現職の支部書記長で交渉窓口を担い活動の中心をなしている者を、本人同意もないままに強制配転することは、支部活動の弱体化を企図した不当労働行為そのものだ。

さらに、中労委和解において「今後、円滑な労使関係を構築することが優先的課題である」として諫められたにもかかわらず、その趣旨をも踏みにじりまさに腹いせとも言えるべき報復人事で応えたことは、法制度にも反する反社会行為だ。

しかも、他の社員が配転希望を示していたのに、それを無視してまで希望していない淀谷を無理やり配転することは、人事の本旨にも反したタメにする人事だ。

郵政は80年代からこの種の強制配転を強行してきたが、民営化推進会議の答申を受ける形で新たな「人事交流」に踏み切った。その意味では、闘いは淀谷に止まらない。広く労組の壁を乗り越えて不当人事での共同の戦線が開ける。

悪いことは言わない。ただちに淀谷を元職場に戻せ。そうしなければ会社は再び恥をかくことになるだろう。社会的に指弾されているその体質を満天下に自己暴露することになるぞ。(5月13日 記)



郵政ユニオン安芸府中支部淀谷書記長の強制配転に抗議のデモ＝09・3・31
安芸府中郵便局前

反貧困まちかど生活相談会

●とき 5月27日(水)

13時～21時

●ところ 広島駅南口地下広場

イベント 喫茶コーナー 販売コーナー

17時半～19時:おむすび 飲み物を配ります。

「国鉄ナッパーズ」(男声合唱)ほか

＊電話で相談もできます

090-4890-1579

相談無料

生活保護 医療・福祉 借金 労働(派遣など) 住まい 定額給付金の相談など弁護士、社会福祉士、社会保険労務士、司法書士などの専門家が親身な対応をします。〈秘密厳守〉

■協力: 広島夜回りの会 広島つくしの会

■主催: 反貧困ネットワーク広島

広島市中区東白島14-15

NTTクレド白島ビル7階 広島総合法律事

務所内

電話: 082-227-8181